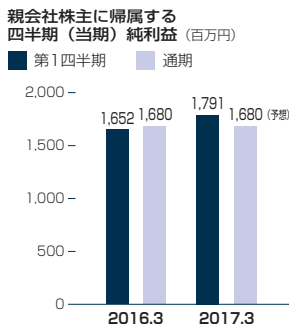
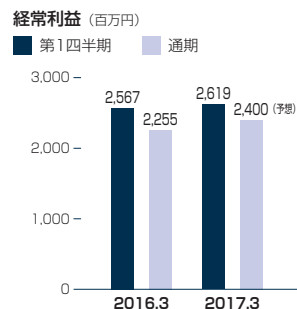
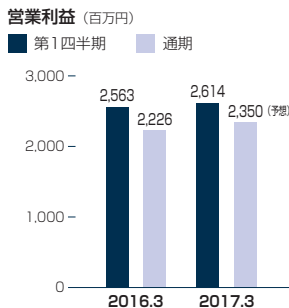
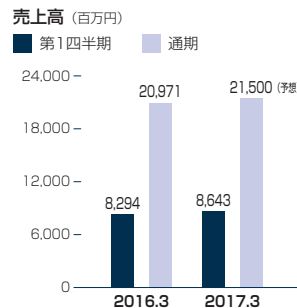


料金後納
郵便

当第1四半期の連結業績

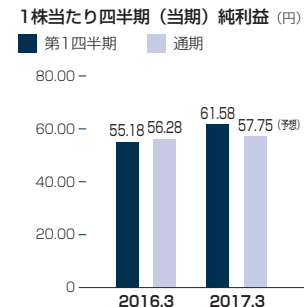
	(第1四半期実績)	(前年同期比)
売上高	8,643百万円	4.2%増
営業利益	2,614百万円	2.0%増
営業利益率	30.2%	0.7pt減
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,791百万円	8.4%増
1株当たり四半期純利益	61円58銭	6円40銭増

製品別売上高 (百万円)	(第1四半期実績)	(構成比)	(前年同期比)
上場会社 ディスクロージャー関連	4,814	55.7%	4.3%増
上場会社IR関連等	2,000	23.2%	3.7%増
金融商品 ディスクロージャー関連	1,702	19.7%	4.6%増
データベース関連	124	1.4%	3.8%増



資産・負債の状況 (百万円)

流動資産	18,881	流動負債	5,849
固定資産	11,966	固定負債	2,866
資産合計	30,848	負債合計	8,715
		純資産合計	22,132
		負債純資産合計	30,848



第1四半期の季節性について

当社グループの売上の約70%を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が3月決算会社であるため、決算および株主総会関連製品の受注が集中する第1四半期の売上が最も多くなっています。これにより、当第1四半期の各利益科目の実績は通期業績予想を上回っています。

株主通信 2017年3月期 第1四半期決算ご報告
(2016年4月1日~2016年6月30日)

株式会社プロネクサス 証券コード：7893
(東証一部)

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

●本報告書は2016年3月末時点での株主の皆様にお送りしています。

まずこちらを

開く

濡れている場合は乾かしてから
はがしてください。

会社概要 (2016年6月30日現在)

商号	株式会社プロネクサス
創業	1930年12月15日
設立	1947年5月1日
資本金	30億5,865万500円
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング
主な事業内容	ディスクロージャー・IR実務に係る総合的支援サービス
従業員数	991名(連結) 672名(単体)

主な事業所および工場

大阪支店	札幌営業所	名古屋営業所
広島営業所	福岡営業所	戸田工場

グループ会社 (連結子会社)

株式会社アスコミュニケーションズ 日本財務翻訳株式会社
台湾普羅納克廈斯股份有限公司(プロネクサス台湾)(他、持分法適用関連会社5社)

株式インフォメーション

■株式に関する手続きについて

1. 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

2. 特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記へお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先 ☎ 0120-232-711

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■株主優待・IR/財務情報に関するお問い合わせはこちらへ

株式会社プロネクサス 社長室 03-5777-3145

メールアドレス asp@pronexus.co.jp

注記事項 ※本報告書は、2016年7月29日発表の2017年3月期第1四半期決算短信の数値、文章を基に作成しています。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

株主の皆様へ



「新中期経営計画2018」の
目標達成に向け
全社的な取り組みを
強化してまいります。

郵便はがき

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第1四半期(4-6月)は、2015年に制定されたコーポレートガバナンス・コードを背景として投資家への情報提供を強化する動きが高まり、関連製品の受注が増加したことに加え、大型のIPOも売上に寄与しました。すべての製品区分において売上高が前年同期を上回った結果、連結売上高は8,643百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

利益面では、受注増に対応する売上原価の増加、および営業体制の強化による販管費の増加により、原価率・販管費率ともに前年同期比微増となりました。これらの結果、営業利益は2,614百万円(同2.0%増)、営業外収益27百万円と営業外費用22百万円を加減し、経常利益は2,619百万円(同2.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,791百万円(同8.4%増)となりました。

当社は2016年4月から「新中期経営計画2018」(以下、中計)をスタートしました。開示書類作成支援から開示周辺の実務プロセス支援へと事業領域を拡張し、新たな商品・サービスの開発提供を通じて成長を目指します。当社DNAである環境変化への対応力を成長力に転換し、中計の目標達成に向け、全社をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2016年8月 代表取締役社長 上野 剛史

製品別の概況

＜上場会社ディスクロージャー関連＞

株主との対話を重視する動きを受け、招集通知のカラー化が進展し受注単価が上昇。大型IPOの受注も寄与し、売上高は4,814百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

＜上場会社IR関連等＞

コーポレートガバナンス・コードを背景に、英文IRサービスやIRサイト構築等のWebサービス、株主総会ビジュアル化サービス等の受注が増加し、売上高は2,000百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

＜金融商品ディスクロージャー関連＞

投資信託市場は、前期の活況を維持。目論見書などは前年同期の水準を下回りましたが、運用報告書や各種販売用資料、Webサービス等の受注が増加。J-REIT関連の受注増加も寄与し、売上高は1,702百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

＜データベース関連＞

顧客ニーズに応える機能向上やバージョンアップを行い、既存顧客の契約更新促進と新規顧客の開拓を推進した結果、売上高は1,240百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

配当方針・株主優待

1. 配当方針

連結配当性向「30%以上」を基準として、安定配当をベースに業績、経営環境等を総合的に加味した配当を継続してまいります。

実績・予想	年間配当金(円 銭)			配当性向 (%)	純資産配当率 (%)
	第2四半期末	期末	合計		
2016年3月期	12.00 (内3期配当)	11.00	23.00	40.9	3.3
2017年3月期(予想)	11.00	11.00	22.00	38.1	

2. 自己株式について

■2015年5月に自己株式288万株を消却し、2016年3月に85万株(約10億円)を自己株式として新たに取得。

■2016年6月末時点の発行済株式総数は33,444千株、うち4,353千株(13.0%)が自己株式となっております。

3. 株主優待

毎年3月末日現在の株主様を対象に、保有年数と所有株式数に応じてQUOカードを贈呈しております。

	1年未満	1年以上	3年以上
100株以上	500円	1,000円	1,500円
1,000株以上	1,000円	3,000円	5,000円